

2020/9/13-2

(うとQ世話し 退屈しのぎの「オイタ」をひとつ)

退屈しのぎにチョットいいかも?という「オイタ」を思いつきました。

A「わたしは、本当は金目当てから」B「本文」C「と、保証等全くするつもりのないことを平気で言っております」

ネットや何かの広告の見出しタイトルBの前にAを、Bの後にCをくっつけると、その広告の正体が大体わかる遊びです。特に誇大広告にはてき面。

具体例を書くと問題になりそうなので、ご自分でお試しくださいませ。

他には上司が行っている言葉の前後に

A「私は自分可愛さに」B「上司の言葉」C「と、責任逃れの目くらましで言っております」も同様。

偉そうにしている退職じいさんの言葉の前後に

A「私は肩書喪失で不安で仕方がないから」B「じいさんの言葉」C「と、虚勢を張って言っております」

も、これまた同じ

相手の話に対して何でも直ぐに相槌を打つママ友さんの言葉の前後に

A「私は、仲間外れにされると怖いので」B「ママ友さんの言葉」C「と、何も耳に貼っていないけれど、取り敢えず場のぎに、言っているだけです」

最後に「見て見ぬ振り、気づかぬ振り」をしながらその実、興味津々のスパイ活動。その根拠として「自分はただでさえ、みんなの注目の的」だからワザと身を隠してそうしているの、と本気で思っているおばちゃん言葉の前後に

A「私は、女優レベルだから」B「おばちゃん言葉」C「と、言ってもおかしくはないわよね?」

これを充て嵌めてみて、スムーズに流れれば、相手の正体は「それである」「そうでしかない」と大体分かります。

(但し、最後の例だけは、文章が「破綻したら、正体がばれる」という反対評価になっておりますので、ご注意を)

自分としては結構面白かったので、お暇なときにでも、やってみてはいかがでしょうか。

(注)全部覚えるのが大変でしたら、Cは全て「と、言っております」に統一すると楽でしょう。